

価値共創の先進エリア 「九州大学学術研究都市フォーラム」

2021.3.22 (月)

15:00~17:10

オンライン (ZOOMウェビナー) 開催

お申込みはQRコードまたは下記URLよりお願いします

https://us02web.zoom.us/join/register/WN_SuRtkJqCS7WbMjBMxFgmhg



研究施設が続々と整備されるなど、着実にまちづくりが進んでいる九州大学及び九大学研都市の取組みをご理解いただくとともに、産学の更なる関係を構築、強固なものとするを目的として開催します。是非ご参加ください。

ORGANIZATION FOR PROMOTION CITY BY KYUSHU UNIVERSITY

PROGRAM

主催者挨拶

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構

理事長 貫 正義



基調講演 (15:05~15:35)

◆九州大学の目指す姿

国立大学法人九州大学 総長
石橋 達朗 氏



九大学研都市の紹介(15:35~15:50)

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構

事務局長 刈茅 初支

講演 (16:00~17:10)

◆産学連携で高めるローカルアドバンテージ

一般社団法人九州経済連合会 会長
麻生 泰 氏



◆大学発の科学技術にもとづく事業創造に向けて

国立大学法人九州大学 副理事
経済学研究院教授
九州大学ロバート・ファン/
アントレプレナーシップ・センター長
高田 仁 氏



◆九大学研都市への期待と注文

西日本新聞社 代表取締役社長
柴田 建哉 氏



お問合せ

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構 (OPACK)

TEL : 092-805-3677

【主催】 公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)

【共催】 九州大学学術研究都市推進協議会

【後援】 国立大学法人九州大学 一般社団法人九州経済連合会 西日本新聞社

福岡県 福岡市 糸島市

OPACK

◆講演概要

『九州大学の目指す姿』

石橋 達朗 氏

九州大学は今年で110周年を迎えます。昨年10月1日から新たな執行部体制となりましたが、次の100年も歴史と伝統に培われた英知を継承し、これを次の世代に伝えていくため、さらなる自立的な改革を継続することで、創造的な新しい知を導き出す研究教育拠点としての役割を担っていきます。

本講演では、九州大学の研究力と社会展開について最前線の研究・産学官連携について概説するとともに、九州大学の今後目指す姿や将来構想についてご紹介します。

『産学連携で高めるローカルアドバンテージ』

麻生 泰 氏

コロナ禍で世の中は劇的に変わりました。想像を絶するダメージの一方で、地方のアドバンテージはより鮮明になりました。ITの活用と優れた生活環境で地方の魅力を打ち出し、「選ばれる九州」を実現するため、経済界・大学には大きな使命と責任があります。

本講演では、次世代が明るい可能性を感じる地方創生モデルの形成に向け、産学が協働で進めている価値共創への動き、九経連が描く地域の将来像についてご紹介します。

『大学発の科学技術にもとづく事業創造に向けて』

高田 仁 氏

近年、大学発のスタートアップ企業が注目を集めています。革新的な科学技術は破壊的イノベーションの可能性を秘めていますが、事業化のプロセスは不確実性が高く、難易度が高いといえます。しかし近年の実践経験とアカデミックな研究の蓄積により、成功確率を高める要諦が明らかにされつつあります。

本講演では、ビジネス・スクールやアントレプレナーシップ・センター、学術研究・産学官連携本部、学内各部署が連携した大学発技術による事業創造と地域エコシステム形成に向けた取り組みをご紹介します。

『九大学研都市への期待と注文』

柴田 建哉 氏

九州大学が福岡の地に産声を上げて今年で110年。この間、九大の存在が地域社会や経済に与えた影響は計り知れません。伊都キャンパスへの全面移転完了という新たなステージを迎え、地域づくりの観点から九大学研都市に期待される役割は何か。

本講演では、九大と福岡の発展を見つめ続けてきた地元紙・西日本新聞ならではの視点で提言します。